

ノボレインボーの21

メス 2021年3月29日生 | 芦毛 | 美浦・松山将樹厩舎 | サンバマウンテンファーム生産



一口価格： **13,200円** ※2023年保険料 423円 募集口数：500口【競走馬出資金総額 660万円】



POINT

ディーブインパクト系で芝クラシック路線で活躍した父アドミラブルと、ダート短距離タイプの母系の掛け合わせにより、未知の魅力を秘める本馬。父アドミラブルは故障によりダービー3着以降は出走が叶いませんでしたが、その夢の続きは産駒たちに託されました。そして母ノボレインボーは本馬を産んだ後、残念ながら天国へと旅立ちました。両親の想いを引き継いだ本馬にまぶしい未来が待っていることは疑いようがなく、競馬場で拍手を浴びながら輝く姿を見ることが楽しみでなりません。

治郎丸敬之の馬体診断

父アドミラブルは500キロを優に超える馬体を誇り、ディーブインパクト系らしさとはかけ離れた、実に重厚な馬体を躍動させて走った馬でした。ピュッと切れるタイプではないため、日本ダービーのような舞台は向かないながらも3着に好走したのは能力の高さの証明であったと思います。タラレバになりますが、脚部を故障することなくあのまま走り続けていたら、重賞をいくつも勝っていたはず。産駒には馬体の雄大さと重厚さを伝えるはずですから、時計の掛かる芝のレースやもしかするとダート戦でも走るタイプの馬が誕生するのではないかと期待しています。ノボレインボーの21はパッと見た印象ではアドミラブルらしさは出ていないように映りますが、馬体全体のバランスは良いですね。首や手肢の長さも十分にあって、胴部にも伸びがあり、すっきりとしています。牝馬であることで重くなりすぎなかったと解釈することができます。母ノボレインボーも大きな馬格を誇り、中央の短距離ダートで3勝を挙げた堅実な馬でしたから、同馬もデビューする頃には500キロ近いサイズ感に成長しているのではないのでしょうか。この母からそろそろ当たりが出そうな気がします。

※測尺・馬体重はHPで最新情報をご覧ください。